

【教科目標】

- 造形的な能力を働かせるとともに，自らつくりだす喜びを味わい，創造的に表現する態度を育てます。
- 材料などの特徴をとらえ主題の表し方を構想するとともに，創造表現の能力，デザインや創造的な工作の能力を高めるようにします。
- 作品などを進んで鑑賞し，そのよさや美しさなどを感じ取り，それらを大切にしようとする気持ちを育てます。

【評価の観点】

- 身のまわりのものの色や形に関心を持ち，楽しく作ったり，かいたりしようとしている。
- 表現したいことを発想し，良さや美しさを考えた豊かな構想ができていく。
- 材料や用具を使って，表現に適した方法を組み合わせる工夫している。
- 自分なりの見方や感じ方で作品の良さや美しさを感じ取ったり，味わったりしている。

【学習予定】

期	学習すること
前	<p>こんなとき感じること思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 画面構成や絵の具の塗り方など表現方法の工夫をする。 <p>曲げてねじって</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土を加工していく操作から，思いついた形を作品に仕上げていく。 <p>動くよ動く絵が動く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 変化する絵を工夫しながらつくる。 ○ お互いに見せながら，作品の楽しさを味わう。 <p>板を切り抜いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電動糸のこぎりを正しく安全に使うことができる。 ○ 木のパーツを生かして，輪投げができるジグソーパズルをつくって楽しむ。
後	<p>ほって刷って</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 彫刻刀の彫りの効果を考えて，使い分けたり，彫り分けたりする。 <p>心広がる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 物語を読み，心に思い浮かんだことや想像したことを，構図や色の使い方を工夫してかく。 <p>日本のアート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統的な美術の良さや，現代的な意義について触れ，理解する。

